

---

## 「乾癬性関節炎患者における皮膚および関節症状の治療反応と患者背景に関する性差の後方視的観察研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2011年1月1日から2025年4月30日の期間に、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科を受診し、乾癬性関節炎と診断された患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

この研究では、乾癬性関節炎という皮膚と関節に症状が出る病気の患者さんについて、性別(男性か女性か)によって治療の効果や治療の続けやすさに違いがあるかどうかを調べます。

当院で2011年から2025年までに、生物学的製剤という注射の薬で治療を受けた患者さんの診療記録を使い、以下のような点を比べます：

- ・皮膚の症状がどれくらい良くなったか(PASIという評価を使います)
- ・関節の痛みやはれがどれくらい良くなったか(DAPSAという評価を使います)
- ・治療を1年間続けられたかどうか、その中止理由や薬を変更した理由

この研究により、男性と女性で治療の効き方や続けやすさに違いがあるかを知ることができ、今後のよりよい治療選びに役立つことが期待されます。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年7月3日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

本研究は、新たに患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることはなく、これまでの外

来診療でのカルテの記載を解析して行う研究です。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において、研究責任者である高村 さおりが管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

乾癬性関節炎と診断された患者さんの診療記録等を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 大谷地 慶太（研究分担者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 飯野 奏（研究分担者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 齋藤 聡一郎（研究分担者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 竹内 瑞希（研究分担者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 福田 知雄（研究分担者）

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3637（土日祝日を除く 9時～17時）

○研究課題名：乾癬性関節炎患者における皮膚および関節症状の治療反応と患者背景に関する性差の後方視的観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり